

平成25年度 学校自己評価システムシート (県立大宮東高等学校)

目指す学校像	文武両道を旨とし、正義感溢れる心身ともに健康な生徒を育てる学校
--------	---------------------------------

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 生徒の能力を最大限に引き出す授業を実践し、確かな学力の定着を図る。 2 組織的・計画的なキャリア教育を通して、生徒が主体的に進路を実現できる能力を培う。 3 生徒指導の充実と部活動等の活性化を図り、高い規範意識と豊かな人間性を持った生徒を育成する。 4 保護者や地域と密接に連携し、地域に信頼される開かれた学校づくりをする。
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※ 学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	5名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	12名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							学 校 関 係 者 評 価	
年 度 目 標				年 度 評 価 (2月1日現在)			実施日	平成26年2月14日
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等
1	□現状 ・生徒の80%近くが授業に「満足」している。 ・一方、主体的に授業に取り組めない生徒もいる。 □課題 ・わかる授業の実現に向けた授業改善・授業研究の一層の充実。 ・確かな学力の確立と自主的な学習態度の育成。	生徒の主体性を育む学力向上の取組	①教員の一層の授業研究・各教科毎の授業研究の推進。 授業アンケートの活用 ②学校全体で8:30から10分間の朝勉に取り組ませるとともに、授業以外で毎日1時間以上の学習に取り組ませるなどして、学習に対する意識の向上を図る。	①生徒、保護者の授業満足度。 ②主体的に授業に取り組む生徒の割合。生徒の平均学習時間。	①生徒の授業満足度79.2%(▲0.3P)、保護者の授業満足度83.6%(+5.4P)。学校全体で年2回の授業アンケートを実施し、結果をもとに授業改善を行った。各教科での授業研究月間での研究授業を例年並みに実施した。 ②主体的に学習に取り組んでいる生徒は69.2%(▲1.6P)。家庭学習時間1時間未満と回答した生徒がまだ約80%いる。	B	生徒自らの進路意識をさらに高め、学習に主体的に取り組む生徒を増やし、文武両道をさらに実践させる必要がある。 本年度、自習室を設置し、生徒一人一人が自らの課題を見つけ主体的に学習に取り組む姿勢を身に着けるよう指導した。今後は、朝学習に加え、授業以外の学習時間を増やすことに取り組む必要がある。	・文武両道の文の面の一層の充実を期待する。 ・朝学習は軌道に乗ってきたと思われるが、「家庭学習1時間」をどのように浸透させていくかが大きなカギ。今後とも生徒に訴え続けてほしい。 ・引き続き授業満足度を高める努力を続けてもらいたい。
2	□現状 ・2年次から分野毎の細かな指導をしている。生徒の70%近くが現状に満足している。 ・就職・公務員は難化。進学ではチャレンジ精神が不足している生徒もいる。 □課題 ・生徒一人ひとりの多様な進路希望を実現するキャリア教育の充実。 ・保護者への的確な進路情報提供 ・生徒への個別指導の一層の充実	生徒の主体性引き出す進路指導の充実	①学校全体での組織的かつ3年間の継続的な進路指導を実践する。 ②キャリア教育の充実を図り生徒の進路意識を向上させる。	①生徒の主体性を育む進路行事等の実践。(進路日より等の発行回数) ②進路指導に対する生徒・保護者の満足度。	①進路指導部を中心に3年間の継続的な進路行事が定着し、内容も充実してきた。3年生は、就職希望者の内定100%のほか88%(昨年同時期比+3P)が進路を決定している。残りの者も進学に向けて努力している。3年進路だよりを16回発行した。 ②生徒の進路指導満足度は、69.5%(+2.9P)、保護者の進路指導満足度は、82.5%(+5.6P)であった。	A	3年間の継続的な進路指導は、組織として確立されているが、多様な進路希望を持つ本校生徒へは、個別のきめの細かい指導が必要である。進路指導部だけでなく、全職員が進路指導能力を向上させる必要がある。 一般受験を希望する生徒が増加することを見込み、自習室を設置し効果的に活用することをとおして、それらの生徒に対する支援が十分行えるよう、各教職員の指導力を向上させる必要がある。	・全体として、系統だった進路指導がされていると思う。 ・進路決定率が高いのは、就職希望者に対する粘り強い指導が功を奏しているのではないかと。 ・自習室を設置したことにより、学習環境の向上や進学意欲の向上につながったのではないかと。
3	□現状 ・基本的な生活習慣等は概ね確立している。 ・8割の生徒が部活動に加入し、県大会や関東大会等で活躍している。 □課題 ・より一層の規範意識の育成。 ・部員一人一人を一層大切に、更なる生徒の主体性を育み、部活動の活性化を図る。	規範意識を高める生徒指導の充実 豊かな人間性を育て、目標に向かって努力する部活動の活性化	①生徒指導部・学年・家庭の連携による生活指導と交通安全指導を徹底する。 ②部活動の合理的な強化により、関東大会等上位大会への出場実績を維持・向上させる。	①指導件数、交通事故数。交通安全指導の充実。(指導内容及び回数) ②部活動の実績 生徒、保護者の部活動満足度	①生徒指導件数(人数)は昨年度とほぼ同数(昨年度は半減)。生徒主体の自転車マナーアップ講習を実施した他、保護者と連携した交通安全指導を毎学期実施した。軽微な自転車事故が年度前半を中心に数件発生した。 ②各部活動が互いに切磋琢磨し、学校全体で部活動の活動状況が活性化している。関東大会及びインターハイ県予選ベスト8以上34件(▲2件)。関東大会出場件数11件(±0)、インターハイ出場件数5件(+3件)。生徒の部活動満足度は69.2%(▲1.8P)である。	B	学校全体が落ち着いた雰囲気でも部活動、勉強、行事へ仲間と協力して取り組んでいる。自転車のマナーアップについては、年に数回一般の方からの苦情があるなど、生徒の安全・マナーに対する意識を一層啓発する必要がある。 部活動も着実に力をつけているが、各顧問が指導力を高めるために指導方法を一層研究するとともに、学校全体で相互に高め合う雰囲気づくりに取り組みたい。	・基本的な生活習慣は確立されている。 ・部活動における指導などにより、礼儀正しい生徒が多いということは、校外も含め多くの人に周知されてきている。 ・自転車事故根絶に向け、引き続き取り組んで欲しい。 ・部活動に関しては、これから期待できる種目もある。競技力向上に向けて、顧問の指導力を一層アップさせてほしい。
4	□現状 ・多様な方法、機会を通じて情報発信に努めている。 ・小学校や自治会等の交流、学校評価懇話会を通して開かれた学校づくりを推進している。 □課題 ・本校の理解を深める広報活動の一層の推進 ・地域の中で生徒の活躍の場を少しでも多く確保する。	地域に信頼される開かれた学校づくりの推進	①ホームページやメール配信などを通じたタイムリーかつ的確な教育情報を発信する。 ②学校説明会等を通じた広報活動を強化する。	①ホームページ更新回数、アクセス数。 メール配信数。 ②学校説明会参加者数及び内容。	①更新回数はトップページだけでも115回を数えた。アクセス数は176,358回であった。本校の教育内容を外部に理解していただく重要なツールとして今後とも活用していく。また、本年度導入した配信メールは、配信回数37回、配信メール数14,330通であった。 ②参加者数は、台風で第3回を中止としたものの、2,046名(▲109人)であった。	A	ホームページによる情報発信は続けることに意義があり、停滞させない。また、生徒・保護者向けのメール配信を継続して行うことも、非常に大切である。 学校説明会では、引き続き中学生並びにその保護者の立場に立って内容を構成する必要がある。開催時期は、中学校の行事を十分考慮する必要がある。	・ホームページを充実させ、学校の教育活動を外部に発信し、学校をよりよく理解してもらえるようにしてほしい。 ・メール配信により、学校からの連絡が保護者に伝わりやすくなったのではないかと。 ・学校説明会の開催時期の検討などを進め、参加者を増やして欲しい。